

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶるうみい(児童発達支援・放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R7年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R7年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内で訪問看護事業、居宅介護事業も行っているため、情報交換、情報共有出来、訪問時の状況や変更事項などを早期に知ることが出来る。訪問看護事業を通して、他事業所や担当医からの情報が収集出来る。多職種がそれぞれの視点で話し合うことにより、視野が広がり、知識、技術の向上にもつながっている。	その日のデイサービスで気になることがあった場合、事業所の連絡アプリを使用し、事業所全体での情報共有を行っている。 次回のご利用がある前に、速やかに共有出来るように意識している。	多職種がそれぞれの視点で意見が言いやすい関係性が構築出来るよう、環境作りを大切にしている。 訪問看護から訪問時の様子や母からの話が聞け、支援につなげている。
2	複数台の電動ベッドや、浴室、フロアにリフトを導入しており、利用者を安全に介助出来、職員の負担軽減につながっている。 経験豊富なセラピストが在籍しており、個々に応じたリハビリが提供できている。	リフトが必要な利用者がスムーズに活用できるよう、リフト付き電動ベッドの配置を変えた。職員の負担軽減につながっているが、スペースは狭くなったため、荷物や医療機器の配置など工夫している。	浴室やフロアのリフトを必要な利用者が活用出来るよう、利用者の配置を工夫している。 その日の利用者の状態や目的により、理学療法士または作業療法士が担当している。 利用者が安心、安楽に過ごせるよう、体調の把握に努めている。
3	事業所内に経験豊富な職員が多数在籍している。	デイサービス内だけでなく、訪問看護事業、訪問介護事業の職員間で様々な分野について情報交換し、知識の向上につなげている。	職員が研修を受講する機会を増やし、さらなる知識、支援技術の向上を目指している。 それぞれの現場で経験してきた事が生かせるような現場づくりを意識している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	積極的な地域交流が出来ていない。	地域の保育所や小学校への積極的な働きかけが出来ていない。 地域や小学校などの行事が把握出来ていない。 通所しているのが、重症心身障害児ということもあり、感染に関しては気になるところである。	地域や保育所、小学校などの行事についての情報収集を行う。 行事の時に声をかけていただけるような関係作りに努める。 感染等の事もあるので、交流を希望されるかは保護者に確認する。
2			
3			